

消息

ラ生活を終え、このほど帰国した。

外交の多元化を



(東京外語大教授)

中嶋嶺雄氏

「私にとつて未知の世界でしたが、それだけに忘れ得ぬ体験を積むことができた。オーストラリアでは七〇年代に入って、アジアの一員としての意識が強まり、日本、中国

オーストラリア国を含めアジア研究が盛んにな
立大学現代中国セン
ター客員教授として
の二年のキャンベ
アの片思い、の感じが強い
うでしようか。オーストリ

すね。もつと外交の多元化が必要だと思います」と南半球からみついて語る。

「中ソ対立と現状」(中央公論社)が近く発刊の予

定。